

# シカの影響と箱根の森の現状

富士箱根伊豆国立公園の箱根地域では、近年、急激にニホンジカが増え、採食による植物の衰退が深刻化しています。環境省では、関係機関と協力して、国立公園の豊かな自然環境を守るために、様々な対策を実施しています。



発行：環境省 富士箱根伊豆国立公園管理事務所



## 箱根の植物

箱根の森には、ブナ、ケヤキなどの落葉広葉樹を主とする自然林が残されています。また、国の天然記念物に指定され、多様な湿生植物がみられる仙石原湿原や台ヶ岳に広がるススキ草原など四季の美しさを楽しむことができます。



ハコネギク



ハコネコマツツシ



マツムシソウ



モウセンゴケ



## 増えている箱根のシカと植物への影響

箱根地域では過去100年ほどシカが見られなくなりましたが、その後、伊豆半島方面と、富士山・丹沢方面から、生き残ったシカが入ってきたことで、1990年頃から箱根でもシカが見られるようになりました。近年、シカの生息数が増えており、箱根でも植物に影響が出ています。

シカの影響ってなに？



### 下草や低木の減少



明神ヶ岳

シカの口が届く範囲の下草や低木の葉がなくなっています。

### 樹皮はぎ



駒ヶ岳

草や葉がなくなると、樹皮を食べます。木が枯れることもあります。

### 土壌の流出



明神ヶ岳

植物がないと雨が直接地面にあたり土壌が流出しています。



植物が減りつづけると、土砂崩れが発生する可能性が高まります。



# 箱根地域のシカ対策

何かできることはないの？



環境省では箱根町、神奈川県、静岡県、林野庁と協力しながら対策を進めています。シカから植物を守るためには、「**植生保護**」と「**捕獲**」がとても大切であり、今の箱根の現状を踏まえ、早急に対策を強化していく必要があります。また、対策の効果を把握するために、モニタリング調査を実施しています。

## 植生保護柵の設置

シカが入らないように柵を作って希少な植物を保護しています。柵の設置や管理は箱根町、神奈川県、林野庁、環境省が行っています。環境省では、大型柵1基(仙石原)、中型柵5基(駒ヶ岳、白浜、長尾峠下、三国山、仙石原)、複数の小規模柵を設置しています。今後も優先度に基づき関係者で協力しながら設置を進めていきます。



大型柵

延長: 約2.3km  
設置年: 2018~2022年  
設置者: 環境省



仙石原温原の大型柵

シカの影響を調べるために小規模柵(2×2 m)を設置。2年後、柵内の植物が急激に回復しました。植物を守るためには、柵の設置とともにシカの数进行管理する必要があります。



2年後

柵外の植物はシカに食べられています

## 個体数調整

箱根町、神奈川県、静岡県、猟友会箱根支部、神奈川県猟友会、地域の方々が協力して捕獲を実行しています。今後、特に希少な植物が集まる明神ヶ岳・駒ヶ岳・三国山周辺を重点捕獲地域として、関係機関が連携してシカの数減らす試みを行っていきます。



箱根町の囲いわな

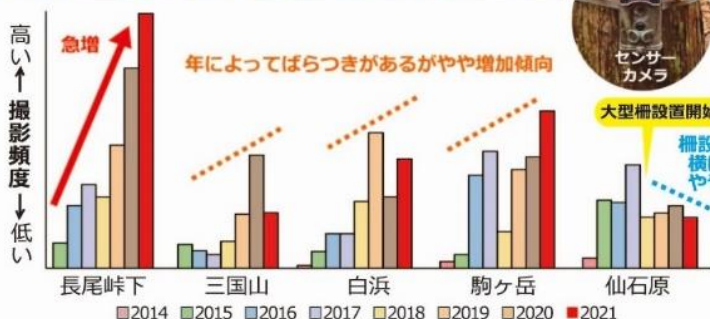


神奈川県の捕獲チーム

## モニタリング調査

対策の効果を検証し、今後の柵の設置や捕獲計画を綿密におこなうために、調査しています。

### センサーカメラによるシカの生息状況把握



センサーカメラ

大型柵設置開始

柵設置後は横ばいかやや減少

### 植生調査によるシカの影響把握



私も調べてみたいな！



次のページへ



# 植物の被害の現状

箱根の森はどれだけかわってしまったの？

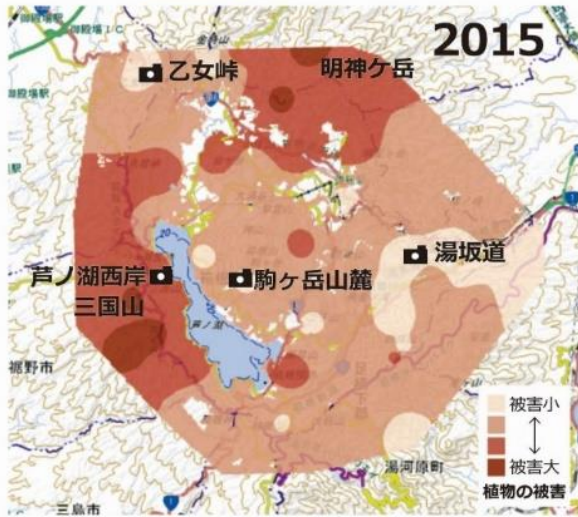


地図で  
くらべよう

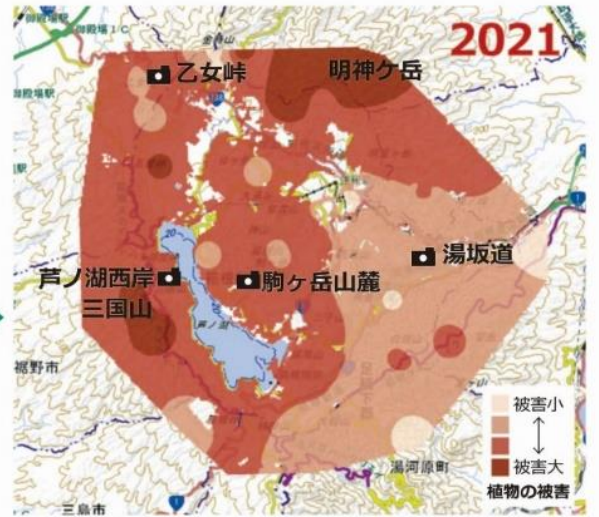
Map



箱根地域の植生被害を80カ所調べたよ。2015年の時点で、すでに三国山と明神ヶ岳周辺は被害が大きいね。2021年は駒ヶ岳や乙女峠方面にも、急激に被害が広がっているのがわかるね。



6年後



撮影ポイント：下記で写真により経年変化を紹介

2015

2021

乙女峠		6年後		低木や草がほとんどなくなった！ シカが食べられる高さの	
芦ノ湖西岸		6年後			
駒ヶ岳山麓		6年後			ササが なくなった！
湯坂道		6年後			低木が スカスカ！

写真で  
くらべよう

Photo



植物の被害を調べるために、2015年と2021年に同じ場所で写真を撮りました。6年間で植物がほとんどなくなってしまったところがたくさんあったんだ。



## あなたも箱根の山を歩いて モニタリング調査体験

### シカが好きな植物4種類をみつけて、食痕（食べあと）をチェック！



箱根の全域に生育していて、なおかつシカが好んで食べる植物を4種紹介します。植物を見つけたら、食痕（食べあと）があるか・ないかを観察してみてください。食痕が多いとシカの影響が強いことがわかります。

#### アオキ



青々した葉が一年中落ちません。



#### イヌツゲ



小さい葉が沢山つきます。一年中、葉が落ちません。



#### リョウブ



ツルツルの樹皮が特徴的です。冬は落葉します。



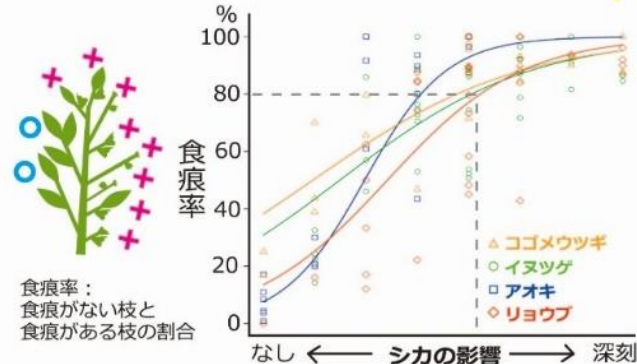
#### コゴメウツギ



細い枝の低木です。冬には葉が落ちます。



この4種を「指標植物」として、実際に調査がおこなわれています！



環境省では、この4種類の植物をピックアップして、シカによる影響を調べています。食痕のある枝が80%を超えると周辺の植物にも大きな影響が及ぶことがわかっています。

シカ対策の効果があらわれて、植物が守られるといいな。



## シカってどんな動物？

**体長** 90～150cm

**体重** 40～100kg

**食べ物** 一日におよそ2kgの植物を食べます。

#### 体色



春～夏  
明るい茶色に白色の水玉もようになります。



秋～冬  
灰色がかった茶色の毛にかわります。

#### 角



メス  
メスや0歳には角がありません。



オス  
オスには角があり、毎年春先にぬけて新しい角が生えてきます。